

---

---

# 情報機器を活用した家庭科の授業

八基小学校

---

---

## 1 題材名 快適な住まい方のくふう 第5学年（家庭科）

### 2 題材の目標

気持ちよい住まい方に関心を持ち，身の回りを快適に整えようとする。

(家庭生活への関心・意欲・態度)

自分の住まい方を見直し，快適に住まうために自分なりに考え，工夫することができるようにする。

(生活を創意工夫する能力)

暖かさ，風通し，明るさなどから自分の課題を選択し，身の回りを快適に整えるための課題を追究できるようにする。

(生活の技能)

家族が楽しく気持ちよく過ごすための住まい方がわかるようにする。

(家庭生活についての知識・理解)

### 3 指導計画の概要(10時間扱い)

住まい方を見てみよう。 2時間

課題を決めて，調べよう。 6時間

調べたことを生活に生かそう。 2時間



### 4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

児童の考える『快適な住まい方』とは，『明るい』『暖かい』『風通しがよい』『清潔』という漠然としたものである。そこで，実際に調べることが必要になる。「調べる方法」としてインターネットや図書を挙げる児童が多い。課題解決のための情報収集に、インターネットや図書資料の活用が効果的であると考えた。多くの情報の中から，自分の必要とする情報を選択し，課題追究に生かす力を身に付けさせるようにしたいと考えた。また，自分のまとめたことを相手にわかりやすく伝えるための表現力も身に付けさせるようにしたい。

### 5 成果

図書資料やインターネットで、具体的な数値や改善のポイントを調べることができた。その内容を自分の住まいに持ち帰り、温度や照度を測定する児童、養護教諭にインタビューをしたり、教室や特別教室の数値を測定する児童も見られた。

家庭での実践を発表するときには、模造紙にまとめたり，プレゼンテーションソフト『はっぴょう名人』を使ってまとめた。また、デジタルカメラの画像を提示したり自作の模型などを用いながら、自分の工夫をわかりやすく説明しようという態度が見られた。

## 6 授業実践概要

課題を決めて調べよう (6時間扱い)

学習内容	時間	学習活動	教師の働きかけ(・) 評価( )	資料
調べ学習の計画	1	1 課題を追究するための方法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に自分の住まい方に役立てるための計画を立てさせる。</li> <li>・参考になりそうな資料と入手方法を考えさせる。</li> </ul> 具体的な計画が立てられたか。 発表 ワークシート 机間指導	ワークシート
課題の追究	3	2 いろいろな方法で調べたり, 実験したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習が進められるよう準備する。</li> <li>・インターネットを活用する場合</li> <li>・事前に利用可能なページを検索して、「お気に入り」に追加しておく。</li> <li>・図書資料を活用する場合</li> <li>・図書館補助員に図書紹介の協力を依頼する。</li> </ul> 計画に沿って調べられたか。 まとめの資料が集められたか。 ワークシート 活動の様子を観察	ワークシート 学習コーナー資料(掲示物) PC 図書 パンフレット 折り込み広告 温度計 照度計 デジタルカメラ
家庭での実践	課外	3 調べたことを家庭で実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭へも協力を呼びかけ、実践への励みになるようにする。</li> <li>・学校での実践の場も設けておく。</li> </ul> 調べたことを実践することができたか。 ワークシート	ワークシート デジタルカメラ 温度計 照度計 実践に必要なもの
実践のまとめ	2	4 家庭で実践したことや感想をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙に書く。(掲示資料)</li> <li>・コンピュータを使う。</li> <li>・写真を見せる。</li> <li>・実演する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の工夫が聞く人にわかるように、まとめ方を工夫させる。</li> </ul> 実践したことをまとめることができたか。 ワークシート シートの内容 活動の様子を観察	ワークシート 集めた資料 模造紙 マジック PC 発表に必要なもの

